

# 真誠

学校だより  
No.8  
西東京市立  
田無小学校  
令和元年  
11月29日

「チーム田無」も

「ONE TEAM」で

校長 小林 宏

九月下旬から始まったラグビーのワールドカップ日本大会は、十一月二日に決勝が行われ、南アフリカ共和国が優勝を果たして大会を終えました。

「ONE TEAM(ワン・チーム)」は、今大会におけるラグビー日本代表チームのスローガンです。また、今年の流行語大賞にノミネートされました(大賞の発表は十二月二日)。日本代表選手三十一名は、日本を含めた七か国の出身者から選ばれています。異なる文化や背景をもつ選手たちが、お互いを尊重することも、日本の歴史や文化を学び、合宿を通じて家族のように一つのチームになりました。念願のベスト8進出は、まさに「ONE TEAM」にて成し遂げた快挙でした。

また、準々決勝で日本に勝ち、優勝した南アフリカ共和国代表チームも「ONE TEAM」が当てはまると思います。南アフリカ共和国は、貧困や犯罪の多発、人種間の格差など様々な問題に直面しています。そ

のような中、代表チームのキャプテンであるシヤ・コリシ選手は、優勝後のインタビューで次のように語っていました。「南アフリカには多くの問題があるが、様々なバックグラウンドや異なる人種を超えて、目標のために一つになりました。一つになれば、何でもできるのです。」

さて、過日の音楽会では、ご多用の中、多くの保護者・地域の皆様にご参会いただきまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。「咲かせよう田無に響く音の花」をスローガンに、一生懸命に練習した子供たちの素敵な音楽を、お届けできたのではないかと思います。まさに、田無小が「ONE TEAM」となって取り組んだ成果です。この成果を、子供たち一人一人の今後の自信と意欲に繋げていきたいと思えます。

今大会を主催した国際統括団体「ワールドラグビー」のビル・ボームント会長も「日本人の情熱は素晴らしい、開催国として最高だった」と称賛していました。今回のラグビーワールドカップ日本大会を通して世界に認められた日本の「おもてなし」の心を東京2020オリンピック

ク・パラリンピック競技大会に繋げていくことができるよう、オリンピック・パラリンピック教育の更なる充実を図っていきたいと考えています。

## ■安全面に配慮した 防寒対策を■

日ごとに朝の寒さが厳しくなってきました。毎朝、正門で子供たちを迎えていると、両手をポケットに入れて登校してくる児童を見かけます。手袋の着用等、学校で声掛けを行っていますが、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

## ■ご協力に感謝いたします■

過日の音楽会では、上履き持参や自転車での来校禁止について、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。ご協力をお願いします。

いじめ防止対策委員会  
児童虐待防止校内委員会

十二月の主な行事予定																	
25	24	23	19	17	16	14	13	12	11	10	9	6	5	4	3	2	
水	火	月	木	火	月	土	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	
終業式 午前授業	給食終 水曜時程・五時間授業	児童朝会	児童集会	はつらつタイム 水曜時程・五時間授業	児童朝会 クラブ がん教育(6)	学校公開(三時間目) 食育授業地区公開講座	クリーン(4) お楽しみ会(わ)	音楽集会 クリーン(2)	午前授業	クリーン(1・6)	クリーン	児童朝会 クリーン(3・5)	保護者会(5・6・わ) 持久走キャンペーン終	児童集会 保護者会(3・4) クリーン(2)	理科見学(6)	避難訓練 保護者会(1・2) クリーン(1・6)	児童朝会 安全指導 委員会 クリーンアップ大作戦始(3・5)

※今月のスクールカウンセラー来校日は5日、12日、19日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

## 四年生の様子

秦 美穂

総合的な学習を中心に、ゲストティーチャーを迎え、様々なお話を聞く機会を設定しています。特に二学期は、バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点から社会に目を向け、「共に生きる」というテーマで学んでいます。

先日は、視覚障害の方が盲導犬と共に来校しお話ししてくださいました。福祉機器も紹介してくださいました。服の色を判別し、読み上げる機械には、感嘆の声が湧き上がりました。また、別の機会には、聴覚障害の方にお話を伺い手話体験をしました。

これらの学習をきっかけとし、興味や関心を広げ調べたり発表したりしていきます。人の関わりを見つめ、社会を考える学習に取り組んでいます。



## 一学期のわかば学級の取組みから

高木 博幸

二学期のわかば学級は、清里宿泊学習へ向けて九月から事前学習を重ねてきましたが、台風による中央高速道路の通行止め等の影響により残念ながら中止となりました。

そのような中でしたが、音楽の授業で九月下旬から少しずつ取り組んできたのが、音楽会の練習です。「ソーラン節」の合奏では楽器ごとの練習を行い、次にみんなで音やリズムを合わせる練習へと少しずつステップアップしながら進めました。「小さな勇氣」の合唱も言葉を大切にして練習してきました。音楽会当日も一年生から六年生までが力を合わせ、想いのこもった演奏ができたのではないかと思います。

今後様々な機会を通して、自分の想いや考えを伝える力、表現する力を育てる学習に取り組んでいきます。

## すばらしい音の花を咲かせた音楽会

音楽専科 伊勢 彩加

どの子も自分たちの最上級の演奏をしようと、本当によく頑張っていました。手元を見ることに必死で、テンポがだんだん速くなってしまった合奏も、ソプラノにつられ音程があいまいになっていた合唱も、回を増すごとに変化していきました。全員が指揮者を見ることを意識し、アドバイスを聞き逃さんと集中して練習に取り組む姿が、どの学年もすばらしかったです。その頑張りも、音楽会当日のすばらしい演奏へと実を結んだのだと思います。終わりの後の子供たちは、達成感にあふれ、満足したような、少し安堵したような表情をしていたのが忘れられません。スポットライトを浴びて輝いていたこの日の事が、少しでも記憶に残り続けたらいいなと思います。

保護者の皆様におかれましても、様々なご協力をいただき、大きな混乱もなくスムーズに会場運営が行えましたことに感謝申し上げます。

## クリーンアップキャンペーン

水谷 菜々子

「学校をきれいにしよう」

田無小学校では、毎年十二月上旬に運動場の落ち葉の清掃活動を行っています。兄弟学級で協力をし、掃除の時間に活動を行ったり、わかば学級では生活単元学習・自立活動の時間に活動を行ったりしています。

集めた落ち葉を袋に溜めていくと、自分たちの頑張りが目に見えて分かるようになります。「見て！葉っぱがこんなに集まったよ！」「どっちの袋に葉っぱがたくさん集まっているかな？」と、低学年の子供たちが声を挙げたり、きれいになった運動場を見て満足そうな表情を見せてくれたりします。高学年は、そんな低学年の様子を温かな表情で見守りつつも、「この葉っぱを拾うよ」「ここに集めてね」と教える、お兄さん・お姉さんらしい姿を見せてくれます。このキャンペーンを通じて、いつも使っている場所を、自分たちの手できれいにするよさを感じてほしいと思います。